

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322069	社会的養護 I Social Care I	黒谷万美子	✓	専門	2	選択	2後期

科目の概要

この科目はDP2.3に記載している子どもの生活学科の教育目標である人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材を育成する科目として設定されている。養護問題の現状や背景、施設における運営と現状を理解するとともに援助者に求められる資質や専門技術、今後の課題について学ぶ。多様な問題を抱えた子ども達の児童福祉施設における養護の基本理念を理解し、具体的な援助内容、方法について演習を通して理解を深める。保健師として行政・企業・健康保険組合に20年間勤務し、健康教育・保健指導等行ってきた。家族支援を含めた健康支援活動の経験を生かした講義(演習・実習)を行う。

学修内容	到達目標
① 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について学修する ② 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について学修する ③ 社会的養護の制度と実施体系等について学修する ④ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について学修する ⑤ 社会的養護の現状と課題について学修する	① 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解することができる。 ② 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し説明することができる。 ③ 社会的養護の制度や実施体系について理解し説明することができる。 ④ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職について理解し特徴について発表することができる。 ⑤ 社会的養護の現状と課題について理解し解決方法について提案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	社会的養護の制度や実施体系、児童の人権擁護や自立支援について興味を持ち予習・復習の指示がなくても実施できる
	働きかけ力	
	実行力	講義終了後、その日のうちに必ず復習を実施することができる
考え抜く力	課題発見力	講義中の疑問点を、質問・検索できる
	計画力	
	創造力	配布資料を基に自分の講義ノートをまとめることができる
チームで働く力	発信力	講義内容について疑問点を教員に質問し、友人とディスカッションできる
	傾聴力	講義を集中して受講し、社会的養護の実際について記憶できる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	規律性を守りレポート提出を行うことができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:後日提示

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:「社会的養護 I」は学科専門科目「保育の本質・目的に関する科目」として設定されており、その後履修する「社会的養護 II」の基盤となる科目である。
 資格との関連:保育士

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み積極的に授業に参加する 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめ、内容を整理しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 世の中で起こっている様々な事件の中で、子どもに関連する出来事に注目する (具体的には、テレビや新聞のニュースに関心を持って、毎日、見聞きすること) 積極的な個人ワーク、発表準備を行う <注意>出席・授業態度では、3回遅刻で1回欠席。10分以上の遅刻や早退、居眠りは欠席扱い、更に5回欠席で-10点とする(1回につき-2点)。私語が多く再三注意を受けるなど受講態度が良くないときには、その授業の出席を認めない場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	80	①	✓	社会的養護の制度や実施体系、児童の人権擁護や自立支援について理解し具体的な施設養護の実際に繋げることができるかについて評価する。S:社会的養護の制度や実施体系、自立支援について理解し施設養護の具体的支援について述べることができる。A: 社会的養護の制度や実施体系、自立支援について理解し施設養護の特徴を述べるることができる。B: 社会的養護の制度や実施体系、自立支援について理解し述べるることができる。C: 社会的養護の制度や実施体系、自立支援について基本的知識を得ることができる。F:Cのレベルに達していない知識の獲得(子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し説明する):50% 知識の活用(社会的養護の対象や形態、関係する専門職について理解し特徴について発表する):30% 課題解決(社会的養護の現状と課題について理解し解決方法について提案する):20%		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	10	①	✓		授業の中でのDVD視聴やグループワークにおいて、それぞれの学びや意見、反省等今後の活動に展開できるような記述を評価する。指定の容量で記述することは勿論、今後の実習記録を踏まえたより具体性、客観性、論理性を備えた記述にすることが重要である。小課題を複数回出題するがテーマは授業中に指示をする。
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①					
		②					
		③					
		④					
		⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	(主体性)質問や意見を述べて積極的に取り組むことができる (実行力)社会的養護の実施体系について記述できる。 (課題発見力)授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間において課題発見することができる (創造力)創造力を発揮し、ヒントや解答を準備することができる。 (発信力)授業での復習(前回の授業でのQ&A)の時間に友人とディスカッションすることができる (傾聴力)相手の意見を正確に理解し、質問に対し分かりやすく答える事ができる (規律性)規律性を守りレポートを提出することができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表の全て満足できる評価が得られる。つまり、社会的養護の制度や実施体系、自立支援について理解し施設養護の特徴を把握できていることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに筆記試験においての知識、レポートでの記述内容、授業での積極的発言と課題発表のある程度満足できる評価が得られる。つまり、社会的養護のしくみを理解するとともに自立支援について理解していることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	児童養護の理念と概念 (1) 家庭や社会の役割について (2) こどもの権利と社会的養護について基本原則	・講義・DVD視聴	こどもにとっての家庭の役割と機能について理解し、こどもの権利について考えを述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第1講) 復習：社会的養護について基本原則とこどもの権利について配布資料を理解する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	児童養護の概念 (3) 児童養護の歴史の変遷について学ぶ	・講義・DVD視聴	わが国における児童養護の歴史と先駆者の取り組みについて基本的な流れを理解することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第2講) 復習：採用試験対策として児童養護における歴史の変遷について年表を復習すること90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	社会的養護の制度と実施体系 (1) 社会的養護の制度と法体系について学ぶ	・講義・DVD視聴 ・レポート記述 (google classroom)	社会的養護に関連する法律について基本的な目的・内容について述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第3講) 復習：社会的養護に関連する法律の目的、内容について年代を追いながら確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	社会的養護の制度と実施体系 (2) 社会的養護の仕組みと実施体系について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	児童養護サービスを提供する場についての理解し、施設ごとの目的及び特徴を記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第4講) 復習：法律に基づいた施設ごとの目的や特徴について自分でワークシートを完成させる90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	社会的養護の制度と実施体系 (3) 家庭的養護と施設養護の違い及び特徴について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴 ・小テスト(google forms)を利用しフィードバック)	施設養護と家庭養護について理解するとともに施設養護の意味や特質、機能について理解し述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第5講) 復習：ワークシートで不十分な項目について再度確認し、施設ごとの特徴を理解する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	社会的養護の制度と実施体系 (4) 社会的養護の専門職・実施者について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	社会的養護に関わる専門職の名称、役割等について法的根拠とともに記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第6講) 復習：社会的養護に関わる専門職の名称、役割等について自分でワークシートを完成させる90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	家庭養護の本質と実際について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴 ・レポート記述 (google classroom)	家庭養護に関する制度について学び家庭養護の原理と特徴について述べるができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第7講) 復習：ワークシートで不十分な項目について再度確認し、専門職の名称、役割について理解する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	施設養護の種類と内容 (1) 養護系施設について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	養護系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習：教科書にて学修範囲を確認90分(第8講) 復習：養護系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	施設養護の種類と内容 (2)障害系施設について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	障害系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第9講) 復習:障害系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	施設養護の種類と内容 (3)治療・育成系施設について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴 ・小テスト(google formsを利用しフィードバック)	治療・育成系施設についてそれぞれの特徴を理解するとともに援助者としての支援について記述することができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第10講) 復習:治療・育成系施設についてそれぞれの特徴について自分でワークシートを完成させる90分	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	施設養護の実際 (1)日常生活・自立援助について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴 ・レポート記述(google classroom)	施設養護の実際として日常生活・自立援助における具体的な取り組みについて述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第11講) 復習:ワークシートで不十分な項目について再度確認し、施設ごとの特徴について配置基準も含めて理解する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	施設養護の実際 (2)支援的援助について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	施設養護の実際として支援的援助における具体的な取り組みについて述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第12講) 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	施設養護の実際 (3)関係調整について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴	施設養護の実際として関連機関との関係調整における具体的な取り組みについて述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第13講) 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	社会的養護の現状と課題 (1)施設等の運営管理について学ぶ (2)専門的援助技術について学ぶ	・個人ワーク ・講義・DVD視聴 ・レポート記述(google classroom)	援助者としての理念、資質、専門的援助技術について述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第14講) 復習:社会的養護における関連機関について種類・役割・特徴を理解するため資料を確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	社会的養護の現状と課題 (3)社会的養護と地域福祉について及び今後の課題について学ぶ	オンデマンド配信	今後の課題と対策について理解し自分の考えを述べることができる。自分の考えを積極的に発言することができる。	予習:教科書にて学修範囲を確認90分(第15講) 復習:社会的養護関係施設と地域との関わりを理解するため資料を確認する90分	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力